

事業番号	02 04 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	デジタルインフラ整備事業	部局	企画振興部	課・室	デジタルインフラ整備室		
		実施期間	S44 ~	E-mail	infosys@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	①労働生産性						
総合的に展開する重点政策	3-7 先端技術の積極的な活用・導入						

## 1 現状と課題

- ・ランサムウェアによる標的型攻撃などの脅威に対応するため、職員の情報セキュリティに対する意識の維持向上を図る必要がある。
- ・行政事務のDXが進む中で、職員が利用する各種情報システムの安定的稼働を継続する必要がある。

## 2 事業目的

- ・県が保有する情報資産を様々な脅威から守り、適切に維持管理するため、職員の情報セキュリティに対する意識を一層高めるとともに、高度で信頼できる情報セキュリティ環境を実現する。
- ・行政事務のDXの実現に向けて、各種情報システムの適切な調達、運用保守を実施する。

## 3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①情報セキュリティの確保	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ体制を強化するため、CISOアドバイザーを設置</li> <li>・情報リテラシーの向上、DX推進体制強化のため、ICTに関する最新かつ専門的な知識を有する調査会社等からの助言・指導業務を委託</li> </ul>	
②DX推進に資するデジタルインフラの整備	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな業務環境「ながのデジタルワークプレイス」の安定稼働確保</li> <li>・市町村との共同による入札・契約関係システムの構築</li> <li>・情報通信ネットワークや業務用システムの適切な運用保守</li> </ul>	

## 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定期理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	情報セキュリティ事故件数	件	2	7	↗	3	↘	0	未達成	日頃からの情報セキュリティ対策の取組の効果を示す指標として設定	
②	情報セキュリティ事故処理完了割合	%	100	100	→	100	→	100	達成	情報セキュリティ事故発生時に適切に処理を行っている指標として設定	
③	情報セキュリティ研修受講率	%	94.3	94.51	↗	95.99	↗	100	未達成	職員の情報セキュリティに対する意識向上の取組状況を示す指標として設定	
④	基幹回線の事故件数	件	0	0	→	0	→	0	達成	情報通信ネットワークの安定稼働確保のため、運用保守が適切に実施されていることを示す指標として設定	

## 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	261,101	1,518,083	△ 10,667	1,768,517	1,573,775	1,767,437	11.0
R3年度	0	4,300,448	△ 374,849	3,925,599	3,795,656	3,652,661	11.0
R2年度	0	799,982	△ 1,773	798,209	584,127	797,749	8.0

事業番号	02 04 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	デジタルインフラ整備事業		部局	企画振興部	課・室	デジタルインフラ整備室

## 6 主な取組実績と成果

<p><b>①情報セキュリティの確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員研修（約200名）、デジタルワーク推進役・推進員研修（約500名）及び全職員（約7,700名）を対象とした情報セキュリティ研修実施により、職員の意識向上を図ることができた。</li> <li>・情報セキュリティ監査（実地・書面計93所属）の実施及び監査結果報告書の全庁共有により、課題への対応や傾向の共有を図り、セキュリティ対策の向上に繋げることができた。</li> <li>・情報セキュリティ体制の強化としてCISOアドバイザーを1名設置したことにより、研修・監査等の内容の充実を図ることができた。</li> </ul> <p><b>②DX推進に資するデジタルインフラの整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ながのデジタルワークプレイスの令和4年7月本格運用開始に伴い、安定稼働確保のための運用保守（サービスデスク設置など）を実施したほか、県庁執務室及び合同庁舎へ無線LANを整備。</li> <li>・入札・契約関連事務の効率化や条例改正等に対応するため、計9件のシステム調達を実施。</li> <li>・情報通信ネットワークや業務用システムの安定稼働確保のための運用保守を実施。</li> </ul>
--

## 7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	情報セキュリティ事故件数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
長野県自治体情報セキュリティクラウドの更新により実現した対策により、メール誤送信の発生件数が減少したが、目標は未達成。							
指標②	情報セキュリティ事故処理完了割合	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
情報セキュリティ事故の処理状況を担当係内で共有し、遅れ・漏れに対応することで目標を達成。							
指標③	情報セキュリティ研修受講率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
こまめな受講状況の確認と督促により受講率は向上したが、目標は未達成。							
指標④	基幹回線の事故件数	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
情報通信ネットワークの運用保守を適切に実施した結果、事故発生を防止し、安定稼働を確保することができた。							

## 8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティインシデントの未然防止のため、職員意識のさらなる向上を図る必要がある。</li> <li>・ながのデジタルワークプレイスや情報通信ネットワークの安定稼働を継続するとともに、更なる利便性向上や業務効率化を図る必要がある。</li> </ul>
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティインシデントの未然防止のため、既存の職員研修だけでなく、常日頃から意識向上を図れる仕組みを新たに検討する。</li> <li>・ながのデジタルワークプレイスや情報通信ネットワークの安定稼働確保のため、日頃の運用保守を着実に実施していくとともに、職員へのシステム利用満足度調査等を通じて課題を把握し、更なる利便性向上や業務効率化に繋げる。</li> </ul>

事業名	<b>デジタルインフラ整備事業</b>	部局	企画振興部	課・室	デジタルインフラ整備室
-----	---------------------	----	-------	-----	-------------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>1</b>	<b>セキュリティ対策事業費</b>	205 千円	6,700 千円	7,619 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	セキュリティ対策事業	直接	情報セキュリティポリシーに基づく高度なセキュリティ環境を実現 ・職員向け情報セキュリティ研修等の開催 ・最高情報セキュリティアドバイザーの設置（1名） セキュリティ研修受講者数 約7,700人、セキュリティ監査実施所属（実地45、書面48）	
2	情報リテラシーの向上	直接 委託	ICTに関する最新かつ専門的な知識を有する調査会社等から助言・指導を受け、専門性の高い職員を育成 助言・指導の実施回数 計16回	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>2</b>	<b>デジタルインフラ整備事業</b>	797,544 千円	3,383,812 千円	1,483,737 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	総合行政ネットワークの運営	負担金	総合行政ネットワーク（L G W A N）の運用経費の負担 （負担先：地方公共団体情報システム機構） 1者、38,423千円	
2	サーバ室の整備	委託	サーバ室の適切な管理 （空調設備・消火設備の保守、入退出管理システムの運用管理） 運用箇所：1か所	
3	庁内ネットワークの整備	委託 直接	・新たな業務環境（ながのデジタルワークプレイス）の運用保守 ・仮想化統合基盤の運用保守及び更新 ・セキュリティ対策ソフトの更新 庁内のパソコン業務環境利用時間：年間（24時間365日）	
4	高速情報通信ネットワークの整備	委託	高速情報通信ネットワークの運用保守 第3期：平成29年7月から令和4年6月まで 第4期：令和4年7月から令和9年6月まで 通信可能時間：年間（24時間365日）	
5	自治体情報セキュリティクラウドの整備	委託	長野県自治体情報セキュリティクラウドの運用保守 第1期：平成29年7月から令和4年6月まで 第2期：令和4年7月から令和9年6月まで セキュリティインシデント監視・防止時間：年間（24時間365日）	
6	社会保障・税番号制度システムの整備	委託 交付金	マイナンバー制度に係る情報連携を行うため、団体内統合利用番号連携サーバや中間サーバを運用保守 システム利用可能時間：年間（24時間365日）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
<b>3</b>	<b>業務システム管理事業</b>	0 千円	262,149 千円	276,081 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	内部事務システムの管理	委託	総務事務システム及び人事・給与システムの運用保守及び改修 システム利用者：約29,000人	
2	入札・契約関係システムの管理	委託	・入札参加資格審査システムの更新 ・電子入札システムの改修 ・電子契約の導入 改修・開発システム数：3	
3	防災関係システムの管理	委託	・職員安否確認システム、防災アプリ及び防災情報システムの運用保守 システム利用可能時間：年間（24時間365日）	